

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公表番号】特表2007-513264(P2007-513264A)

【公表日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2007-019

【出願番号】特願2006-541868(P2006-541868)

【国際特許分類】

A 41 D 19/00 (2006.01)

【F I】

A 41 D 19/00 A

A 41 D 19/00 P

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月6日(2007.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内部及び外部の支持表面を画定する手に装着可能かつ柔軟な支持材と、前記内部支持材表面に耐パンク性の材料で構成された複数の内部シールドが設けられ、前記外部支持材表面に耐パンク性の材料で構成された複数の外部シールドが設けられ、使用に際して、前記複数の内部シールド及び前記複数の外部シールドは、使用者の手の動きにかかわらず、非貫通性のシールドを前記使用者の手に設けるため、重ね合わされていることを特徴とする使用者の手を保護する耐パンクグローブ。

【請求項2】

柔軟な支持材は、グローブ形状の支持材形態であることを特徴とする請求項1に記載の耐パンクグローブ。

【請求項3】

複数の内部及び外部シールドは、柔軟な支持材で接して固定されていることを特徴とする請求項1または2に記載の耐パンクグローブ。

【請求項4】

複数の外部シールドは、フィンガーキャップ、サムキャップ、フィンガーリング、サムリングからなる群から選ばれるものであることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の耐パンクグローブ。

【請求項5】

複数の内部シールドは、フィンガーリングとサムリングからなる群から選択された形状であることを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の耐パンクグローブ。

【請求項6】

1つ又はそれ以上の複数の内部シールドは、柔軟な支持材の方向へ向かって表面に突出した端部又は縁が設けられていることを特徴とする請求項1から5のいずれかに記載の耐パンクグローブ。

【請求項7】

さらに複数の内部シールド内部に設けられた裏地を有することを特徴とする請求項1から6のいずれかに記載の耐パンクグローブ。

【請求項8】

内部及び外部支持材表面の両方を画定する手に装着可能な柔軟な支持材を形成し、
耐パンク材料からなる複数の内部シールドを成型し、

耐パンク材料からなる複数の外部シールドを成型し、

前記内部支持材表面に前記複数の内部シールドを設け、

前記外部支持材表面に前記複数の外部シールドを設け、

前記複数の内部シールド及び前記複数の外部シールドは、使用中に、使用者の手の動きにかかわらず、前記使用者の手に非貫通シールドを提供するように重ね合わせて配置されることを特徴とする使用者の手を保護する耐パンクグローブを作製する方法。

【請求項 9】

複数の内部及び外部シールドの成型は、射出成形工程によることを特徴とする請求項 8 記載の方法。